

地区検討協議会への申し送り事項

本協議会では、愛西市立小中学校の適正規模・適正配置・老朽化対策について、市全体を俯瞰した協議検討を重ね、基本計画(協議会案)を提案した。しかし、小学校の統廃合や通学区域の再編などは、地域の歴史や特性などに十分配慮し、詳細かつ慎重に検討する必要がある。

そこで、以下の事項について、今後設置される地区検討協議会へ申し送ることとする。

なお、本協議会で検討した資料を基に、学校別カルテを作成した。地区検討協議会での検討の一助になれば幸甚である。

① 基本計画(協議会案)の提案における中学校の対策

- 統廃合後の通学時間・距離の確認及び通学方法の検討
 - ・通学に係る時間や距離の妥当性の検証
 - ・通学路の安全確認と安全確保に必要な対策の提案
 - ・体力維持のための方策を含めた通学方法
 - ・学区再編成の必要性
- 老朽化対策の時期と手法の妥当性
- その他、疑問点や問題点、課題となる事項と、解決策の提案

② 基本計画(協議会案)の提案における小学校の対策

- 全学年1学級の小規模校における適正規模に向けた検討
 - ・通学に係る時間や距離の妥当性の検証
 - ・通学路の安全確認と安全確保に必要な対策の提案
 - ・体力維持のための方策を含めた通学方法
 - ・学区再編成の必要性
- 中学校の統廃合に伴う小学校への影響
- 老朽化対策の時期と手法の妥当性
- その他、疑問点や問題点、課題となる事項と、解決策の提案

③ 地域コミュニティ、避難所等の機能確保

- 小中学校への対策後、予想される問題や課題となる事項と、機能確保のために必要な対策の提案

④ 跡地利用

- 小中学校への対策後、必要に応じて当該地区から提案

中学校カルテの見方

1. 愛西市立中学校の規模基準

過小規模校	小規模校	適正規模校	大規模校	過大規模校
～5学級	6～8学級	9～18学級	19～24学級	25学級～

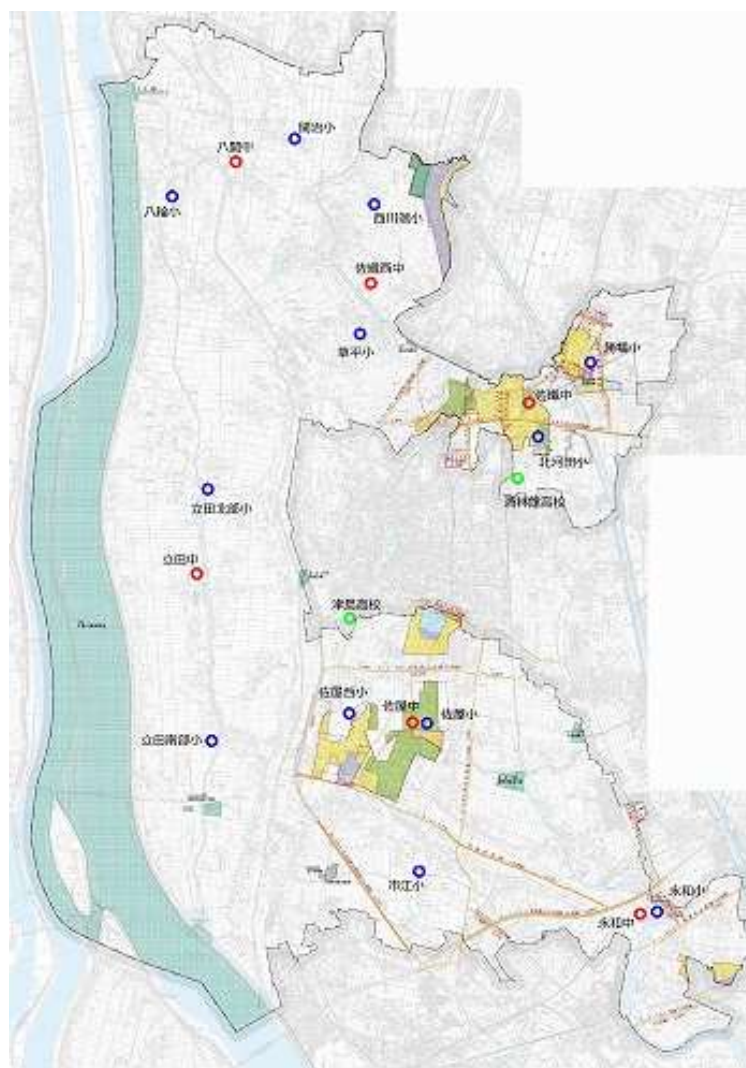
2. 適正化の視点

生徒数18人未満の 通常学級あり	通常学級が 1学年1学級あり	通常学級が 各学年2学級以上あり	通常学級が 各学年3学級以上あり
---------------------	-------------------	---------------------	---------------------

3. 老朽化の視点

区分	I	II	III	IV	V
評価値	145～	144.9～135	134.9～125	124.9～100	～100

※評価値：愛西市小中学校施設老朽化対策検討委員会より
「愛西市小中学校施設の老朽化対策に関する提言書」参照



永和中学校

所在地：愛西市善太新田町七草平 111 番地 1

通学対象小学校区：永和小学校

1. 生徒数等の推移 (R4.5.1 現在)

年度 西暦	生徒数 (人)	学校規模	学級数 (学級)	教諭定数 (人)
R4 2022	201	小規模校	7	12
R5 2023	196		7	12
R6 2024	182		6	11
R7 2025	167		6	11
R8 2026	156		6	11
R9 2027	153		6	11
R10 2028	145		6	11
R11 2029	136		6	11
R12 2030	121		6	11
R13 2031	137		6	11
R14 2032	143		6	11
R15 2033	138		過小規模校	5
R16 2034	132	5		10

2. 老朽化の状況 (老朽化対策検討委員会より)

区分	Ⅱ
評価値	136.1

棟別	棟	建築年	面積(㎡)	構造	階数
北校舎	西棟	昭和 44 年	2,094	R C	3
	東棟	昭和 51 年	1,069	R C	3
南校舎		昭和 58 年	1,624	R C	3
体育館		昭和 54 年	1,500	R C	1
武道場		平成 11 年	1,373	S	1

健全度調査を踏まえ、改築または改修の計画策定を早急に実施すること

3. 学校間距離 (隣接学校のみ)

佐屋中学校まで約 4.5 km

永和小学校まで約 200m

※令和 5 年度以降は、特別支援学級者も含め、35 人 1 学級で計算

※教員配置定数は、令和 4 年度中学校・義務教育学校（後期課程）教員定数配当基準表参照

※教員数は、校長及び養護教諭を除く

4. 愛西市立小中学校適正規模等並びに老朽化対策検討協議会からの提案

永和中学校（老朽化：区分Ⅱ）は、生徒数の推移を注視し、過小規模校となるまでに佐屋・立田統合中学校へ追統合する。過小規模校になると見込まれる 5 年前までを目途に、追統合の検討を開始（現状は、令和 10 年度までに検討開始見込）

ほかにも設置場所の検討、通学路の安全性と距離・時間の確認や地域コミュニティ、避難所等の機能確保、跡地利用について検討すること。

老朽化対策は、追統合の検討後、必要に応じて実施。それまでは修繕で対応すること。

佐屋中学校

所在地：愛西市須依町東田面 2 番地

通学対象小学校区：市江小学校、佐屋小学校、佐屋西小学校

1. 生徒数等の推移 (R4.5.1 現在)

年度 西暦	生徒数 (人)	学校規模	学級数 (学級)	教諭定数 (人)
R4 2022	515	適正規模校	15	23
R5 2023	508		16	25
R6 2024	508		16	25
R7 2025	475		15	23
R8 2026	487		16	25
R9 2027	482		16	25
R10 2028	495		16	25
R11 2029	483		15	23
R12 2030	490		15	23
R13 2031	497		15	23
R14 2032	487		15	23
R15 2033	442		14	22
R16 2034	390		13	20

2. 老朽化の状況 (老朽化対策検討委員会より)

区分	I
評価値	148.5

棟別	棟	建築年	面積(m ²)	構造	階数
北校舎	西棟	昭和 46 年	1,706	R C	3
	東棟	昭和 52 年	1,441	R C	3
南校舎	東棟	昭和 54 年	2,010	R C	3
	西棟	昭和 59 年	2,129	R C	3
体育館		昭和 52 年	1,725	R C	2
武道場		平成 3 年	804	R C	2

学校規模を考慮して、改築計画の策定を早急に実施すること

3. 学校間距離 (隣接学校のみ)

永和中学校まで約 4.5 km

立田中学校まで約 5.1 km

市江小学校まで約 2.6 km

佐屋西小学校まで約 1.1 km

※令和 5 年度以降は、特別支援学級者も含め、35 人 1 学級で計算

※教員配置定数は、令和 4 年度中学校・義務教育学校（後期課程）教員定数配当基準表参照

※教員数は、校長及び養護教諭を除く

4. 適正規模等並びに老朽化対策検討協議会からの提案

佐屋中学校（老朽化：区分 I）と立田中学校（老朽化：区分 I）を統合し、佐屋中学校に配置する。

統合時期は、立田中学校が過小規模校に見込まれる前の、令和 8 年度末までとすることが望ましいため、生徒受入に必要な施設整備及び老朽化対策を実施すること。

ほかにも通学路の安全性と距離・時間の確認や地域コミュニティ、避難所等の機能確保について、跡地利用を検討すること。

立田中学校

所在地：愛西市石田町宮東 1 番地

通学対象小学校区：立田南部小学校、立田北部小学校

1. 生徒数等の推移 (R4.5.1 現在)

年度 西暦	生徒数 (人)	学校規模	学級数 (学級)	教諭定数 (人)
R4 2022	191	小規模校	6	11
R5 2023	177		6	11
R6 2024	161		6	11
R7 2025	145		6	11
R8 2026	138		6	11
R9 2027	116	過小規模校	5	10
R10 2028	115		5	10
R11 2029	108		4	9
R12 2030	118		5	10
R13 2031	112		5	10
R14 2032	113	小規模校	6	11
R15 2033	94	過小規模校	5	10
R16 2034	81		4	9

2. 老朽化の状況 (老朽化対策検討委員会より)

区分	I
評価値	146.5

棟別	棟	建築年	面積(m ²)	構造	階数
北校舎	中棟	昭和 45 年	1,355	R C	2
	中棟	昭和 54 年	21	R C	1
	西棟	昭和 45 年	1,013	R C	2
	東棟	昭和 45 年	280	R C	1
南校舎	西棟	昭和 54 年	1,577	R C	2
	東棟	平成 4 年	627	R C	2
体育館		平成 6 年	2,951	R C	3
武道場		平成 6 年	393	R C	3

学校規模を考慮して、改築計画の策定を早急に実施すること

3. 学校間距離 (隣接学校のみ)

佐屋中学校まで約 5.1 km

八開中学校まで約 7.2 km

立田南部小学校まで約 3.2 km

立田北部小学校まで約 1.5 km

※令和 5 年度以降は、特別支援学級者も含め、35 人 1 学級で計算

※教員配置定数は、令和 4 年度中学校・義務教育学校（後期課程）教員定数配当基準表参照

※教員数は、校長及び養護教諭を除く

4. 適正規模等並びに老朽化対策検討協議会からの提案

佐屋中学校（老朽化：区分 I）と立田中学校（老朽化：区分 I）を統合し、佐屋中学校に配置する。

統合時期は、立田中学校が過小規模校に見込まれる前の、令和 8 年度末までとすることが望ましいため、生徒受入に必要な施設整備及び老朽化対策を実施すること。

ほかにも通学路の安全性と距離・時間の確認や地域コミュニティ、避難所等の機能確保について、跡地利用を検討すること。

八開中学校

所在地：愛西市江西町川原 11 番地

通学対象小学校区：八輪小学校、開治小学校

1. 生徒数等の推移 (R4.5.1 現在)

年度 西暦	生徒数 (人)	学校規模	学級数 (学級)	教諭定数 (人)
R4 2022	104	過小規模校	4	9
R5 2023	89		4	9
R6 2024	85		4	9
R7 2025	78		3	8
R8 2026	80		3	8
R9 2027	83		3	8
R10 2028	89		4	9
R11 2029	93		4	9
R12 2030	90		4	9
R13 2031	84		3	8
R14 2032	84		3	8
R15 2033	70		3	8
R16 2034	59		3	8

2. 老朽化の状況 (老朽化対策検討委員会より)

区分	IV
評価値	112.9

棟別	棟	建築年	面積(m ²)	構造	階数
校舎	東棟	昭和 50 年	2,147	R C	3
	西棟	昭和 60 年	570	R C	3
体育館		平成 5 年	2,417	R C	2

健全度調査を踏まえ、改修計画の策定または中長期修繕計画等による予防保全管理を早急に実施すること

3. 学校間距離 (隣接学校のみ)

立田中学校まで約 7.2 km

佐織西中学校まで約 2.8 km

八輪小学校まで約 1.3 km

開治小学校まで約 1.6 km

※令和 5 年度以降は、特別支援学級者も含め、35 人 1 学級で計算

※教員配置定数は、令和 4 年度中学校・義務教育学校（後期課程）教員定数配当基準表参照
※教員数は、校長及び養護教諭を除く

4. 適正規模等並びに老朽化対策検討協議会からの提案

八開中学校（老朽化：区分Ⅳ）と佐織西中学校（老朽化：区分Ⅳ）を統合し、佐織西中学校に配置する。統合時期は、準備ができ次第、速やかに実施するため、生徒受入に必要な施設整備及び老朽化対策を実施すること。

ほかにも通学路の安全と距離・時間の確認や地域コミュニティ、避難所等の機能確保、跡地利用について検討すること。

佐織中学校

所在地：愛西市諏訪町郷東 167 番地

通学対象小学校区：北河田小学校、勝幡小学校

1. 生徒数等の推移 (R4.5.1 現在)

年度 西暦	生徒数 (人)	学校規模	学級数 (学級)	教諭定数 (人)
R4 2022	295	適正規模校	9	15
R5 2023	289		9	15
R6 2024	287		9	15
R7 2025	272		9	15
R8 2026	261		9	15
R9 2027	246		9	15
R10 2028	235		9	15
R11 2029	237		9	15
R12 2030	235		9	15
R13 2031	241		9	15
R14 2032	236		9	15
R15 2033	210	小規模校	8	14
R16 2034	211		8	14

2. 老朽化の状況 (老朽化対策検討委員会より)

区分	V
評価値	70.2

棟別	棟	建築年	面積(m ²)	構造	階数
校舎	校舎	平成 18 年	3,086	R C	4
	管理	平成 18 年	3,684	R C	4
	ランチ ルーム	平成 18 年	1,038	R C	2
体育館		昭和 60 年	1,214	R C	2
武道場		平成 18 年	621	R C	2

日常の適正な維持管理と中長期修繕計画による
予防保全管理を実施すること。

3. 学校間距離 (隣接学校のみ)

佐織西中学校まで約 3.7 km

北河田小学校まで約 0.6 km

勝幡小学校まで約 1.1 km

※令和 5 年度以降は、特別支援学級者も含め、
35 人 1 学級で計算

※教員配置定数は、令和 4 年度中学校・義務教
育学校 (後期課程) 教員定数配当基準表参照

※教員数は、校長及び養護教諭を除く

4. 適正規模等並びに老朽化対策検討協議会からの提案

佐織中学校 (老朽化：区分 V) は、生徒数の推移を注視し、佐織中学校あるいは八開・佐織西統合中学校
のどちらかが過小規模校となるまでに統合する。

どちらかの過小規模校が見込まれる 5 年前までを目途に、統合の検討を開始すること。

ほかにも設置場所の検討、通学路の安全と距離・時間の確認や地域コミュニティ、避難所等の機能確保、
跡地利用について検討すること。

老朽化対策として、予防保全管理を実施すること。

佐織西中学校

所在地：愛西市草平町阿原 86 番地

通学対象小学校区：草平小学校、西川端小学校

1. 生徒数等の推移 (R4.5.1 現在)

年度 西暦	生徒数 (人)	学校規模	学級数 (学級)	教諭定数 (人)
R4 2022	276	適正規模校	9	15
R5 2023	280		9	15
R6 2024	256	小規模校	8	14
R7 2025	242		8	14
R8 2026	226		8	14
R9 2027	228	適正規模校	9	15
R10 2028	229		9	15
R11 2029	216	小規模校	8	14
R12 2030	217		8	14
R13 2031	206		7	12
R14 2032	205		7	12
R15 2033	196		6	11
R16 2034	194		6	11

2. 老朽化の状況 (老朽化対策検討委員会より)

区分	IV
評価値	120.4

棟別	棟	建築年	面積(m ²)	構造	階数
校舎	東棟	昭和 56 年	1,085	R C	3
	中棟	昭和 55 年	1,632	R C	3
	西棟	昭和 55 年	2,190	R C	3
体育館		昭和 55 年	1,210	R C	1
柔剣道場		昭和 55 年	549	R C	2

健全度調査を踏まえ、改修計画の策定または中長期修繕計画等による予防保全管理を早急に実施すること

3. 学校間距離 (隣接学校のみ)

八開中学校まで約 2.8 km

佐織中学校まで約 3.7 km

草平小学校まで約 0.6 km

西川端小学校まで約 1.3 km

※令和 5 年度以降は、特別支援学級者も含め、35 人 1 学級で計算

※教員配置定数は、令和 4 年度中学校・義務教育学校（後期課程）教員定数配当基準表参照

※教員数は、校長及び養護教諭を除く

4. 愛西市立小中学校適正規模等並びに老朽化対策検討協議会からの提案

八開中学校（老朽化：区分Ⅳ）と佐織西中学校（老朽化：区分Ⅳ）を統合し、佐織西中学校に配置する。統合時期は、準備ができ次第、速やかに実施するため、生徒受入に必要な施設整備及び老朽化対策を実施すること。

ほかにも通学路の安全と距離・時間の確認や地域コミュニティ、避難所等の機能確保、跡地利用について検討すること。

小学校カルテの見方

1. 愛西市立小学校の規模基準

過小規模校	小規模校	適正規模校	大規模校	過大規模校
～5学級	6～11学級	12～18学級	19～30学級	31学級～

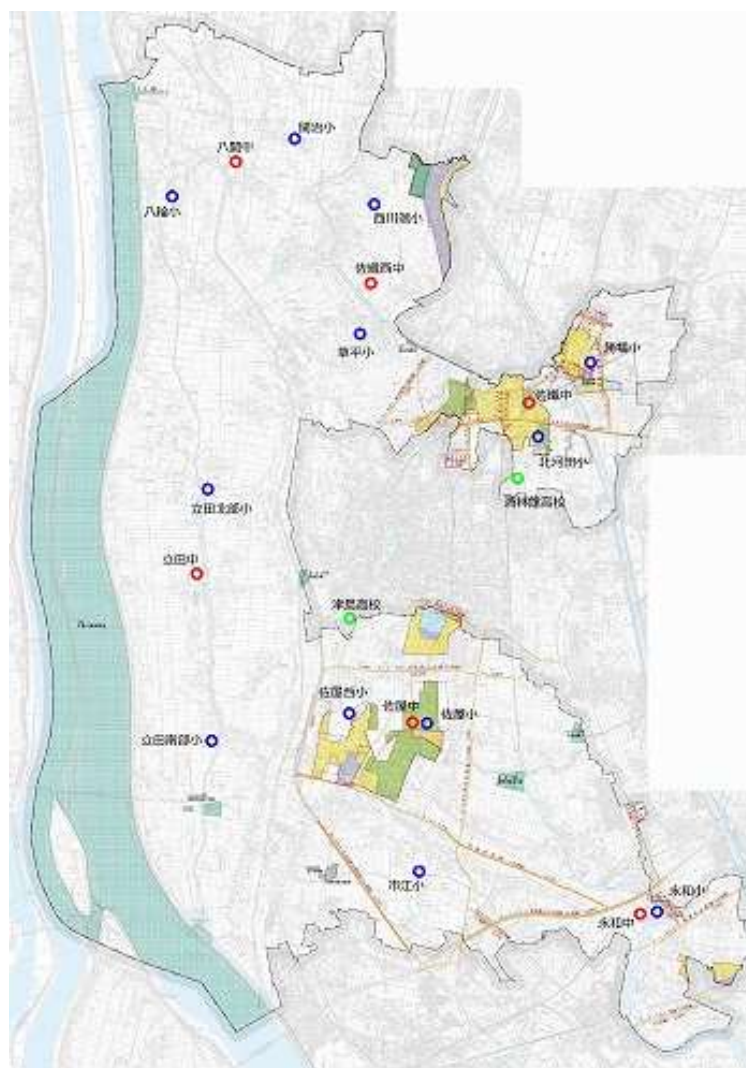
2. 適正化の視点

複式学級が予測	児童数18人未満の 通常学級あり	通常学級が 1学年1学級あり	通常学級が 各学年2学級以上あり
---------	---------------------	-------------------	---------------------

3. 老朽化の視点

区分	I	II	III	IV	V
評価値	145～	144.9～135	134.9～125	124.9～100	～100

※評価値：愛西市小中学校施設老朽化対策検討委員会より
「愛西市小中学校施設の老朽化対策に関する提言書」参照



永和小学校

所在地：愛西市大井町弥八 115 番地

通学対象中学校区：永和中学校

1. 児童数等の推移 (R4.5.1 現在)

年度 西暦	生徒数 (人)	学校規模	学級数 (学級)	教諭定数 (人)
R4 2022	335	適正規模校	12	15
R5 2023	292		12	15
R6 2024	274		12	15
R7 2025	282		12	15
R8 2026	279		12	15
R9 2027	259	小規模校	11	13
R10 2028	269		11	13

2. 老朽化の状況 (老朽化対策検討委員会より)

区分	Ⅱ
評価値	138.9

棟別	棟	建築年	面積(㎡)	構造	階数
北校舎	東棟	昭和 46 年	1,223	R C	3
	西棟	昭和 49 年	1,398	R C	3
南校舎	東棟	昭和 52 年	1,511	R C	3
	西棟	昭和 54 年	936	R C	3
体育館		昭和 53 年	1,100	R C	1

健全度調査を踏まえ、改築または改修の計画策
定を早急に実施すること

※令和 5 年度以降は、特別支援学級者も含め、35 人 1 学級で計算

※令和 5 年度以降の新入学児は、「学校区別児童生徒数調べ」参照

※教員配置定数は、令和 4 年度小学校・義務教育学校（前期課程）教員定数配当基準表参照

※教員数は、校長及び養護教諭を除く

3. 学校間距離 (隣接学校のみ)

市江小学校まで約 3.8 km 永和中学校まで約 200m

佐屋小学校まで約 4.3 km

4. 愛西市立小中学校適正規模等並びに老朽化対策検討協議会からの提案

児童数の推移を注視

健全度調査を実施し、区分 I の学校に続いて老朽化対策に着手

市江小学校

所在地：愛西市東條町西田面 77 番地

通学対象中学校区：佐屋中学校

1. 児童数等の推移 (R4.5.1 現在)

年度 西暦	生徒数 (人)	学校規模	学級数 (学級)	教諭定数 (人)
R4 2022	219	小規模校	8	10
R5 2023	211		10	12
R6 2024	206		9	11
R7 2025	203		9	11
R8 2026	194		8	10
R9 2027	183		7	9
R10 2028	176		7	9

2. 老朽化の状況 (老朽化対策検討委員会より)

区分	Ⅲ
評価値	127.2

棟別	棟	建築年	面積(㎡)	構造	階数
北校舎	東棟	昭和 51 年	1,671	R C	2
	東棟	昭和 50 年	173	R C	2
	西棟	昭和 53 年	186	R C	2
南校舎	東棟	昭和 50 年	487	R C	2
	西棟	昭和 50 年	919	R C	2
体育館		昭和 53 年	1,100	R C	1

健全度調査を踏まえ、総合的な改修計画の策定
を早急に実施すること

※令和 5 年度以降は、特別支援学級者も含め、35 人 1 学級で計算

※令和 5 年度以降の新入学児は、「学校区別児童生徒数調べ」参照

※教員配置定数は、令和 4 年度小学校・義務教育学校（前期課程）教員定数配当基準表参照

※教員数は、校長及び養護教諭を除く

3. 学校間距離 (隣接学校のみ)

永和小学校まで約 3.8 km 永和中学校まで約 3.5 km

佐屋小学校まで約 2.3 km 佐屋中学校まで約 2.6 km

4. 愛西市立小中学校適正規模等並びに老朽化対策検討協議会からの提案

児童数の推移を注視し、全学年 1 学級が見込まれた際には、適正規模化に向けた検討を開始

老朽化の状況を調査し、区分 I・II の学校への対策時期と調整を図りながら、老朽化対策に着手

佐屋小学校

所在地：愛西市須依町東田面 17 番地

通学対象中学校区：佐屋中学校

1. 児童数等の推移 (R4.5.1 現在)

年度 西暦	生徒数 (人)	学校規模	学級数 (学級)	教諭定数 (人)
R4 2022	573	適正規模校	18	22
R5 2023	536		18	22
R6 2024	546		18	22
R7 2025	564		18	22
R8 2026	556		18	22
R9 2027	535		17	21
R10 2028	507		17	21

2. 老朽化の状況 (老朽化対策検討委員会より)

区分	I
評価値	147.5

棟別	棟	建築年	面積(㎡)	構造	階数
北校舎	東棟	昭和 53 年	1,498	R C	3
	中棟	昭和 48 年	1,888	R C	3
	西棟	昭和 48 年	159	R C	3
南校舎	東棟	昭和 40 年	1,113	R C	3
	中棟	昭和 44 年	744	R C	3
	西棟	昭和 46 年	675	R C	3
	南棟	昭和 57 年	324	R C	1
体育館		昭和 55 年	1,198	R C	1

学校規模を考慮して、改築計画の策定を早急に
実施すること

※令和 5 年度以降は、特別支援学級者も含め、35 人 1 学級で計算

※令和 5 年度以降の新入学児は、「学校区別児童生徒数調べ」参照

※教員配置定数は、令和 4 年度小学校・義務教育学校（前期課程）教員定数配当基準表参照

※教員数は、校長及び養護教諭を除く

3. 学校間距離 (隣接学校のみ)

永和小学校まで約 4.3 km 永和中学校まで約 3.5 km

市江小学校まで約 2.3 km

佐屋西小学校まで約 1.1 km

4. 愛西市立小中学校適正規模等並びに老朽化対策検討協議会からの提案

児童数の推移を注視

校舎の必要な面積を検討し、準備ができ次第、速やかに老朽化対策を実施

佐屋西小学校

所在地：愛西市内佐屋町河原 136 番地

通学対象中学校区：佐屋中学校

1. 児童数等の推移 (R4.5.1 現在)

年度 西暦	生徒数 (人)	学校規模	学級数 (学級)	教諭定数 (人)
R4 2022	230	小規模校	9	11
R5 2023	223		10	12
R6 2024	220		10	12
R7 2025	225		10	12
R8 2026	220		9	11
R9 2027	214		8	10
R10 2028	204		8	10

2. 老朽化の状況 (老朽化対策検討委員会より)

区分	Ⅳ
評価値	123.2

棟別	棟	建築年	面積(㎡)	構造	階数
北校舎		平成 11 年	1,181	R C	2
南校舎	東棟	昭和 56 年	2,739	R C	3
	西棟	昭和 56 年	399	R C	3
体育館		昭和 56 年	1,133	R C	1

健全度調査を踏まえ、改修計画の策定または中
長期修繕計画等による予防保全管理を早急に検討
すること

※令和 5 年度以降は、特別支援学級者も含め、35 人 1 学級で計算

※令和 5 年度以降の新入学児は、「学校区別児童生徒数調べ」参照

※教員配置定数は、令和 4 年度小学校・義務教育学校（前期課程）教員定数配当基準表参照

※教員数は、校長及び養護教諭を除く

3. 学校間距離 (隣接学校のみ)

永和小学校まで約 5.1 km 永和中学校まで約 5.3 km

市江小学校まで約 3.1 km 佐屋中学校まで約 1.1 km

佐屋小学校まで約 1.1 km 立田中学校まで約 3.7 km

立田南部小学校まで約 2.4 km

4. 愛西市立小中学校適正規模等並びに老朽化対策検討協議会からの提案

児童数の推移を注視し、全学年 1 学級が見込まれた際には、適正規模化に向けた検討を開始

老朽化の状況を調査し、区分Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの学校への対策時期と調整を図り、老朽化対策に着手

立田南部小学校

所在地：愛西市山路町小割 7 番地

通学対象中学校区：立田中学校

1. 児童数等の推移 (R4.5.1 現在)

年度 西暦	生徒数 (人)	学校規模	学級数 (学級)	教諭定数 (人)
R4 2022	135	小規模校	6	8
R5 2023	112		6	8
R6 2024	111		6	8
R7 2025	109		6	8
R8 2026	102		6	8
R9 2027	102		6	8
R10 2028	91		6	8

2. 老朽化の状況 (老朽化対策検討委員会より)

区分	I
評価値	154.2

棟別	棟	建築年	面積(㎡)	構造	階数
北校舎	東棟	昭和 57 年	302	R C	2
	西棟	昭和 47 年	1,197	R C	2
南校舎	東棟	昭和 57 年	761	R C	2
	中棟	昭和 37 年	178	R C	2
	西棟	昭和 35 年	630	R C	2
体育館		昭和 56 年	1,054	R C	2

学校規模を考慮して、改築計画の策定を早急に
実施すること

※令和 5 年度以降は、特別支援学級者も含め、35 人 1 学級で計算

※令和 5 年度以降の新入学児は、「学校区別児童生徒数調べ」参照

※教員配置定数は、令和 4 年度小学校・義務教育学校（前期課程）教員定数配当基準表参照

※教員数は、校長及び養護教諭を除く

3. 学校間距離 (隣接学校のみ)

佐屋西小学校まで約 2.4 km 佐屋中学校まで約 2.8 km

立田北部小学校まで約 4.7 km 立田中学校まで約 3.2 km

4. 愛西市立小中学校適正規模等並びに老朽化対策検討協議会からの提案

統廃合を含め、速やかに、かつ定期的に、適正規模に向けた検討を開始

統廃合を実施する場合は、設置場所の検討、通学路の安全性と距離・時間の確認、地域コミュニティ、避難場所等の機能の確保、跡地利用を検討すること。

老朽化対策は、適正規模の方向性が決まり次第、速やかに実施し、それまでは、修繕で対応すること。

立田北部小学校

所在地：愛西市新右工門新田町郷前 83 番地

通学対象中学校区：立田中学校

1. 児童数等の推移 (R4.5.1 現在)

年度 西暦	生徒数 (人)	学校規模	学級数 (学級)	教諭定数 (人)
R4 2022	141	小規模校	6	8
R5 2023	134		6	8
R6 2024	123		6	8
R7 2025	118		6	8
R8 2026	119		6	8
R9 2027	110		6	8
R10 2028	102		6	8

2. 老朽化の状況 (老朽化対策検討委員会より)

区分	I
評価値	151.0

棟別	棟	建築年	面積(㎡)	構造	階数
北校舎	△	昭和 46 年	1,079	R C	2
中校舎	△	昭和 37 年	809	R C	2
南校舎	△	昭和 57 年	1,070	R C	2
体育館	△	昭和 56 年	1,064	R C	2

学校規模を考慮して、改築計画の策定を早急に
実施すること

※令和 5 年度以降は、特別支援学級者も含め、35 人 1 学級で計算

※令和 5 年度以降の新入学児は、「学校区別児童生徒数調べ」参照

※教員配置定数は、令和 4 年度小学校・義務教育学校（前期課程）教員定数配当基準表参照

※教員数は、校長及び養護教諭を除く

3. 学校間距離 (隣接学校のみ)

八輪小学校まで約 4.4 km	佐屋中学校まで約 5.3 km
草平小学校まで約 3.9 km	立田中学校まで約 1.5 km
	八開中学校まで約 5.7 km
	佐織西中学校まで約 4.8 km

4. 愛西市立小中学校適正規模等並びに老朽化対策検討協議会からの提案

統廃合を含め、速やかに、かつ定期的に、適正規模に向けた検討を開始

統廃合を実施する場合は、設置場所の検討、通学路の安全性と距離・時間の確認、地域コミュニティ、避難場所等の機能の確保、跡地利用を検討すること。

老朽化対策は、適正規模の方向性が決まり次第、速やかに実施し、それまでは、修繕で対応すること。

八輪小学校

所在地：愛西市立石町宮西 39 番地

通学対象中学校区：八開中学校

1. 児童数等の推移 (R4.5.1 現在)

年度 西暦	生徒数 (人)	学校規模	学級数 (学級)	教諭定数 (人)
R4 2022	94	小規模校	6	8
R5 2023	90		6	8
R6 2024	89		6	8
R7 2025	95		6	8
R8 2026	95		6	8
R9 2027	86		6	8
R10 2028	82		6	8

2. 老朽化の状況 (老朽化対策検討委員会より)

区分	Ⅲ
評価値	129.8

棟別	棟	建築年	面積(㎡)	構造	階数
校舎	/	昭和 54 年	2,636	R C	3
体育館	/	昭和 57 年	807	R C	1

健全度調査を踏まえ、総合的な改修計画の策定
を早急を実施すること

※令和 5 年度以降は、特別支援学級者も含め、35 人 1 学級で計算

※令和 5 年度以降の新入学児は、「学校別児童生徒数調べ」参照

※教員配置定数は、令和 4 年度小学校・義務教育学校（前期課程）教員定数配当基準表参照

※教員数は、校長及び養護教諭を除く

3. 学校間距離 (隣接学校のみ)

立田北部小学校まで約 4.4 km 八開中学校まで約 1.3 km

開治小学校まで約 3.1 km 佐織西中学校まで約 3.9 km

草平小学校まで約 4.0 km

西川端小学校まで約 3.6 km

4. 愛西市立小中学校適正規模等並びに老朽化対策検討協議会からの提案

統廃合を含め、速やかに、かつ定期的に、適正規模に向けた検討を開始

統廃合を実施する場合は、設置場所の検討、通学路の安全性と距離・時間の確認、地域コミュニティ、避難場所等の機能の確保、跡地利用を検討すること。

老朽化の状況を調査し、適正規模の方向性が決まり次第、区分Ⅰ・Ⅱの学校への対策時期と調整を図りながら、老朽化対策に着手すること。

開治小学校

所在地：愛西市鶴多須町中道 248 番地

通学対象中学校区：八開中学校

1. 児童数等の推移 (R4.5.1 現在)

年度 西暦	生徒数 (人)	学校規模	学級数 (学級)	教諭定数 (人)
R4 2022	80	小規模校	6	8
R5 2023	83		6	8
R6 2024	84		6	8
R7 2025	78		6	8
R8 2026	82		6	8
R9 2027	74		6	8
R10 2028	61		6	8

2. 老朽化の状況 (老朽化対策検討委員会より)

区分	Ⅳ
評価値	121.2

棟別	棟	建築年	面積(m ²)	構造	階数
校舎	/	昭和 55 年	2,636	R C	3
体育館	/	昭和 56 年	752	R C	1

健全度調査を踏まえ、改修計画の策定または中
長期修繕計画等による予防保全管理を早急に検討
する

※令和 5 年度以降は、特別支援学級者も含め、35 人 1 学級で計算

※令和 5 年度以降の新入学児は、「学校区別児童生徒数調べ」参照

※教員配置定数は、令和 4 年度小学校・義務教育学校（前期課程）教員定数配当基準表参照

※教員数は、校長及び養護教諭を除く

3. 学校間距離 (隣接学校のみ)

八輪小学校まで約 3.1 km

八開中学校まで約 1.6 km

草平小学校まで約 2.9 km

佐織西中学校まで約 2.7 km

西川端小学校まで約 2.4 km

4. 愛西市立小中学校適正規模等並びに老朽化対策検討協議会からの提案

複式学級が見込まれる 5 年前までに、適正規模に向けた具体的な方策を検討（現状は、令和 7 年度までに具体的な方策を決定）

統廃合を実施する場合は、統合校の配置、通学路の安全と距離・時間を確認、地域コミュニティ、避難所等の機能確保、跡地利用について検討すること。

老朽化対策は、適正規模の方向性が決まり次第、区分Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの学校への対策時期と調整を図り、老朽化対策に着手し、それまでは、修繕で対応する。

北河田小学校

所在地：愛西市北河田町郷前 406 番地

通学対象中学校区：佐織中学校

1. 児童数等の推移 (R4.5.1 現在)

年度 西暦	生徒数 (人)	学校規模	学級数 (学級)	教諭定数 (人)
R4 2022	318	適正規模校	12	15
R5 2023	301		12	15
R6 2024	298		12	15
R7 2025	289		12	15
R8 2026	278		12	15
R9 2027	259	小規模校	11	13
R10 2028	257		11	13

2. 老朽化の状況 (老朽化対策検討委員会より)

区分	Ⅱ
評価値	139.0

棟別	棟	建築年	面積(㎡)	構造	階数
北校舎	/	昭和 46 年	2,327	R C	3
南校舎	/	昭和 52 年	2,351	R C	3
体育館	/	平成 4 年	1,144	R C	1

健全度調査を踏まえ、改築または改修の計画策定を早急を実施すること

※令和 5 年度以降は、特別支援学級者も含め、35 人 1 学級で計算

※令和 5 年度以降の新入学児は、「学校区別児童生徒数調べ」参照

※教員配置定数は、令和 4 年度小学校・義務教育学校（前期課程）教員定数配当基準表参照

※教員数は、校長及び養護教諭を除く

3. 学校間距離 (隣接学校のみ)

勝幡小学校まで約 1.7 km 佐織中学校まで約 0.6 km

草平小学校まで約 3.3 km 佐織西中学校まで約 4.3 km

4. 愛西市立小中学校適正規模等並びに老朽化対策検討協議会からの提案

児童数の推移を注視

健全度調査を実施し、区分Ⅰの学校に続いて老朽化対策に着手

勝幡小学校

所在地：愛西市勝幡町五俵入 2227 番地

通学対象中学校区：佐織中学校

1. 児童数等の推移 (R4.5.1 現在)

年度 西暦	生徒数 (人)	学校規模	学級数 (学級)	教諭定数 (人)
R4 2022	195	小規模校	7	9
R5 2023	197		8	10
R6 2024	183		7	9
R7 2025	187		7	9
R8 2026	195		8	10
R9 2027	186		8	10
R10 2028	195		8	10

2. 老朽化の状況 (老朽化対策検討委員会より)

区分	Ⅱ
評価値	138.9

棟別	棟	建築年	面積(㎡)	構造	階数
北校舎	東棟	昭和 42 年	847	R C	3
	西棟	昭和 44 年	802	R C	3
南校舎	東棟	昭和 56 年	1,057	R C	3
	西棟	昭和 51 年	1,671	R C	3
	給食室	昭和 46 年	135	R C	1
体育館		平成 2 年	1,070	R C	1

健全度調査を踏まえ、改築または改修の計画策
定を早急に実施すること

※令和 5 年度以降は、特別支援学級者も含め、35 人 1 学級で計算

※令和 5 年度以降の新入学児は、「学校区別児童生徒数調べ」参照

※教員配置定数は、令和 4 年度小学校・義務教育学校（前期課程）教員定数配当基準表参照

※教員数は、校長及び養護教諭を除く

3. 学校間距離 (隣接学校のみ)

北河田小学校まで約 1.7 km 佐織中学校まで約 1.1 km

4. 愛西市立小中学校適正規模等並びに老朽化対策検討協議会からの提案

児童数の推移を注視し、全学年 1 学級が見込まれた際には、適正規模化に向けた検討を開始

健全度調査を実施し、区分 I の学校に続いて老朽化対策に着手

草平小学校

所在地：愛西市草平町北田名 57 番地

通学対象中学校区：佐織西中学校

1. 児童数等の推移 (R4.5.1 現在)

年度 西暦	生徒数 (人)	学校規模	学級数 (学級)	教諭定数 (人)
R4 2022	278	適正規模校	12	15
R5 2023	247		12	15
R6 2024	244		12	15
R7 2025	240	小規模校	11	13
R8 2026	217		10	12
R9 2027	214		9	11
R10 2028	196		8	10

2. 老朽化の状況 (老朽化対策検討委員会より)

区分	Ⅲ
評価値	133.0

棟別	棟	建築年	面積(㎡)	構造	階数
北校舎	東棟	昭和 48 年	1,412	R C	3
	西棟	昭和 45 年	1,702	R C	3
南校舎		昭和 53 年	1,564	R C	2
体育館		昭和 57 年	1,076	R C	1

健全度調査を踏まえ、総合的な改修計画の策定
を早急に実施すること

※令和 5 年度以降は、特別支援学級者も含め、35 人 1 学級で計算

※令和 5 年度以降の新入学児は、「学校区別児童生徒数調べ」参照

※教員配置定数は、令和 4 年度小学校・義務教育学校（前期課程）教員定数配当基準表参照

※教員数は、校長及び養護教諭を除く

3. 学校間距離 (隣接学校のみ)

立田北部小学校まで約 3.9 km 八開中学校まで約 3.1 km

八輪小学校まで約 4.0 km 佐織中学校まで約 2.9 km

開治小学校まで約 2.9 km 佐織西中学校まで約 0.6 km

北河田小学校まで約 3.3 km

西川端小学校まで約 2.0 km

4. 愛西市立小中学校適正規模等並びに老朽化対策検討協議会からの提案

児童数の推移を注視

老朽化の状況を調査し、区分 I・II の学校への対策時期と調整を図りながら、老朽化対策に着手

西川端小学校

所在地：愛西市草平町阿原 86 番地

通学対象中学校区：佐織西中学校

1. 児童数等の推移 (R4.5.1 現在)

年度 西暦	生徒数 (人)	学校規模	学級数 (学級)	教諭定数 (人)
R4 2022	214	小規模校	9	11
R5 2023	195		8	10
R6 2024	201		8	10
R7 2025	195		7	9
R8 2026	204		8	10
R9 2027	199		7	9
R10 2028	204		7	9

2. 老朽化の状況 (老朽化対策検討委員会より)

区分	Ⅳ
評価値	124.2

棟別	棟	建築年	面積(㎡)	構造	階数
北校舎		平成 10 年	830	R C	2
南校舎	東棟	昭和 56 年	2,090	R C	3
	西棟	昭和 49 年	927	R C	3
体育館		平成 3 年	1,118	R C	1

健全度調査を踏まえ、改修計画の策定または中
長期修繕計画等による予防保全管理を早急に検討
すること

※令和 5 年度以降は、特別支援学級者も含め、35 人 1 学級で計算

※令和 5 年度以降の新入学児は、「学校区別児童生徒数調べ」参照

※教員配置定数は、令和 4 年度小学校・義務教育学校（前期課程）教員定数配当基準表参照

※教員数は、校長及び養護教諭を除く

3. 学校間距離 (隣接学校のみ)

開治小学校まで約 2.4 km

八開中学校まで約 2.6 km

草平小学校まで約 2.0 km

佐織西中学校まで約 1.3 km

4. 愛西市立小中学校適正規模等並びに老朽化対策検討協議会からの提案

児童数の推移を注視し、全学年 1 学級が見込まれた際には、適正規模化に向けた検討を開始

老朽化の状況を調査し、区分Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの学校への対策時期と調整を図り、老朽化対策に着手